

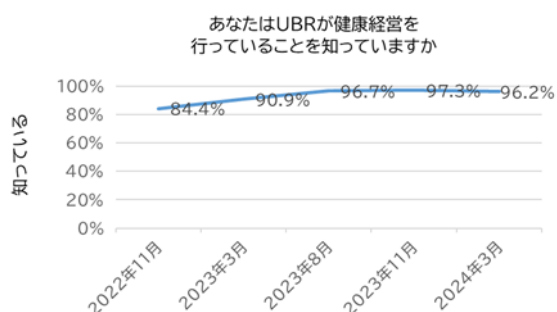
現中計の重点課題への取り組みと目標値

○健康経営

・健康経営の浸透と定着に向けた取り組み

UBRはUBEグループとして、UBEの現中計(2022-2024)の重点課題に取り組んでいます。健康経営に関する認知度を2022年11月にアンケートで調査しました。その結果は、UBEグループの目標90%以上に対し84%でした。

この従業員の認知度が低い結果を受けて各事業所の安全衛生委員会や、各部署で全従業員を対象とした職場安全会議にて健康経営への取り組み状況を説明するとともに、社内イントラのトップ



ページに「健康経営」を掲示し、専用のページにて社長による「健康経営宣言書」や健康経営推進体制など、健康経営状況に社員がいつでもアクセスしやすい環境としています。

その結果、第2回目のアンケートである2023年3月で91%と目標を上回り、その後は安定的に90%台を維持して、第3回目、4回目さらに5回目と95%以上を維持しています。

第5回健康経営アンケート結果

○タバコ対策

たばこに対する諸施策もUBEグループの方針に則り、UBRでも喫煙率低下を目指すため、新入社員及び20代社員を対象とした喫煙防止教育を計画しました。UBRでは中途採用者が多いため、入社都度の教育を行うことで100%実施し、20代社員は2023年度末までに100%実施しました。

○業務起因性疾病リスク対策

UBEグループの施策の中で実施

項目	2024年度末目標値	2021年度
業務起因性疾病リスク管理の徹底	社内化学物質3管理業務運用規程に定義される特殊健診対象者の作業環境測定記録及び作業記録の整備（産業医へ提出）	現場における3管理状況を確認するための産業医巡視の全社標準化を審議